

槻田中学校だより

No. 3 令和5年4月24日
北九州市立槻田中学校
校長 大石 光宏
Tel 651-1921

校訓 『自律の心』 『尊敬の情』 『知能の力』

修学旅行・進路説明会を開催しました。

4月14日（金）、3年生は修学旅行・進路説明会を開催しました。令和5年度の修学旅行については5月9日（火）～11日（木）の予定で実施します。令和2年度は福岡方面への日帰り。令和3年度は熊本、福岡方面への1泊2日。昨年度は南九州方面2泊3日。本年度は3年ぶりに関西方面での2泊3日の修学旅行です。



新型コロナウイルス対策として続けられてきたマスクの着用が個人の判断に委ねられ約1ヶ月が過ぎました。また、5月8日（月）には、感染症法上の分類が季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられます。少しずつ新型コロナに対する考え方にも変化が出てくるとは思いますが、中学校生活最大の行事である修学旅行を確実に実施するため、私たちがやるべきことは、基本的な感染対策を継続するしかありません。家庭、地域、学校が連携して最低限の感染防止対策に努めていきましょう。



進路については、進路決定までのスケジュールや入試制度の概要について説明しました。生徒一人一人が希望進路を実現するために、本格的な準備を進める時期になりました。進路を切り拓いていくのは、もちろん生徒たちですが、彼らが最高のパフォーマンスを発揮できるよう支えていくのがご家庭であり、学校です。お互いに連携を密にしながら、生徒たちを応援していきましょう。

明日から家庭訪問です！

4月25日（火）～5月2日（火）までの6日間（1年生は5月1日までの5日間）の予定で家庭訪問を実施します。今回の訪問では、通学路や家の位置の確認、保護者の皆様との面談で生徒の様子を知る等を目的に訪問します。感染対策を行いながら、短時間の訪問をさせていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

令和5年度の部活動がスタートしました。

4月21日（金）の放課後に部活動発足式を開催しました。本年度、部活動を通じて、心と身体を鍛えながら、人間的成長を図るために、以下の目標を設定しました。

1 感謝の心 【人に感謝 場所に感謝 用具に感謝 地域に感謝】

人に感謝→仲間、先生、保護者、地域の方々があってこそ成り立ちます。全ての人に感謝して活動しましょう。

場所に感謝→安全な場所を確保できない学校もあります。場所に感謝して使いましょう。

用具に感謝→手入れされた用具は更なる力につながります。用具に感謝し大切にしましょう。

地域に感謝→地域の方々は槻田中の応援団です。地域に感謝する活動にしましょう。

2 支え合う心 【励まし合い 助け合い 認め合い】

励まし合い→辛い時、苦しい時に支えてくれるのは仲間です。励まし合う言葉をかけましょう。

助け合い→一人でできないことを支えてくれるのが仲間です。助け合いながら活動しましょう。

認め合い→仲間の良い所に気付くことが大切です。良い所を探し、認め合う言葉をかけましょう。

令和5年度、槻田中学校では、体育系8部、文科系3部、合計11の部活動をスタートさせることができました。部活動に参加する生徒にとって、充実した活動になるように、生徒、保護者、学校が三位一体で取組んでいきましょう。よろしくお願いします。

部活動名	顧問名	部活動名	顧問名
陸上競技		ソフトテニス（女子）	
サッカー		吹奏楽	
バレーボール（女子）		美術	
バスケットボール（男子）		園芸科学	
バスケットボール（女子）		総合運動	
軟式野球			

【お知らせ】

プリントでも連絡しましたが、本年度も、北九州市立中学校「連携部活動」を実施します。この制度は、在籍している学校に「入りたい部活がない」場合に、近隣の学校の部活動に参加し、活動できる制度です。実際に活動するまでには、いくつか留意する点もありますので、保護者の方と確認して、この制度を活用したい場合は、先生に相談してください。基本的な申し込みの条件は、

- ①在籍する中学校に希望する部活動がないこと。
- ②生徒及び保護者が近隣の中学校での活動を希望していること。
- ③受け入れる中学校の部活動規則等を守り、継続して活動する意思があること。
- ④近隣の受け入れ可能な中学校で活動すること。（希望する生徒、保護者による活動校の選択はできない）

となっています。希望する場合は、詳細を説明しますので学校に相談してください。

この他にも、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）が、福岡県中学校総合体育大会の参加資格の緩和や公立中学校の部活動指導を各校近隣のスポーツ団体に委ねる「地域部活動」への改革も全国で行われています。中学校の部活動に対する考え方や取り組み方に大きな舵が切られようとしています。国の動向にアンテナを高く大きく広げて情報収集、情報発信してまいります。